

吉崎正憲 (気象研究所)

②航空機観測 (仮題) 村上正隆 (気象研究所)

③数値実験と解析 加藤輝之 (気象研究所)

II. 豪雨の実態

①東海豪雨 (仮題) 坪木和久 (名古屋大学地球水循環研究センター)

②南東北・北関東豪雨 渡邊 明 (福島大学教育学部)

③練馬豪雨 (仮題) 小林文明 (防衛大学校地球科学科)

III. 総合討論

※講演時間は1人30分。

※講演者・タイトルなどは未定なものがあります。最終的なプログラムは、<http://www1.newweb.ne.jp/wb/crest-mcs/MSJ/S2003meso.htm>に掲載します。

極域・寒冷域研究連絡会のご案内

極域・寒冷域研究連絡会より、2003年秋季大会 (仙台) での開催内容のご案内をいたします。

日時: 2003年10月17日 (金) 17:15~2時間程度

場所: 大会 B 会場 (宮城県民会館中会議室 602)

話題:

氷床コアと気候変動

「ドームふじコア解析によって明らかにされた過去32万年間の大気組成変動と気候変動」

青木周司 (東北大学大学院理学部)

「極域雪氷層中への溶存物質供給および堆積後の移動過程」

五十嵐 誠 (国立極地研究所)

「氷期終焉の原因?: 地球軌道要素 vs 温室効果ガス」

阿部彩子 (東京大学 CCSR)

今回は、氷床コア及び気候変動に関する特集です。数万年以上にわたるような気候変動の研究においては、氷床コア中に含まれる気体成分の濃度や同位体比の変動が重要な手がかりになります。二酸化炭素の変動が気候変動の原因なのか、またはその逆なのかという議論がありますが、この問題の解決には、氷床コア中の気体成分測定精度のさらなる向上が重要であるほ

か、気体等の氷床への取り込みの過程も詳しく議論する必要があります。これらの話題に、モデルで再現された気候変動の議論を交えながら、3名の方に、最新の成果等を紹介して頂きます。

代表:

山崎孝治 (北海道大学地球環境科学研究科)

世話人:

平沢尚彦 (国立極地研究所)

中村 尚 (東京大学理学部)

浮田甚郎 (コロンビア大学)

高田久美子 (地球フロンティア研究システム)

阿部彩子 (東京大学気候システム研究センター)

佐藤 薫 (国立極地研究所)

本田明治 (地球フロンティア研究システム)

齋藤冬樹 (東京大学気候システム研究センター)

高谷康太郎 (地球フロンティア研究システム)

問い合わせ先:

地球フロンティア研究システム 高谷康太郎

Tel: 045-778-5526, Fax: 045-778-5707

e-mail: takaya@jamstec.go.jp